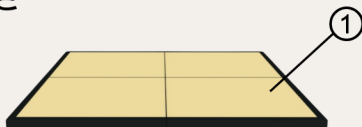


組立て前に『取扱説明書』を必ず確認してください。

内容物の確認：以下の部品がすべて揃っているか確認してください。

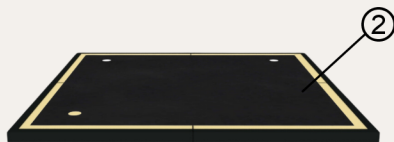
|                                                                                                  |                                                                                                 |                                                                                                          |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 畳×4枚<br>       | ② 黒シート×1枚<br>  | ③ 台座×3個<br>             |
| ④ 球頭ダボ×6本<br>   | ⑤ 柱×3本<br>     | ⑥ 割竹×4本<br>             |
| ⑦ 両球頭ダボ×1本<br>  | ⑧ 銅縁×4本<br>    | ⑨ 立子×8本<br>             |
| ⑩ シュ口縄×20個<br>  | ⑪ 竹ピン×20本<br>  | ⑫ 竹クサビ×10本<br>          |
| ⑬ 灯ろう×6部品<br> | ⑭ 手水鉢×1石<br> | ⑮ 役石×4石<br>~<br>⑯<br> |
| ⑰ 玉石×8石<br>   | ⑱ 白砂利×2袋<br> | ⑲ 砂利鋤き×1枚<br>         |
| ⑳ 砂紋描き×1個<br> | ㉑ 刷毛×1本<br>  |                                                                                                          |

## I. 畳敷き



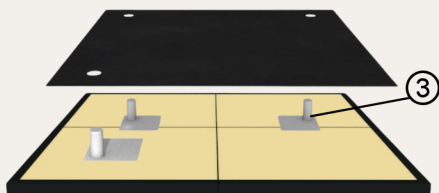
"①畳"を図のように敷きます。

## II. シート敷き



"②黒シート"を畳の上に敷きます。その際、シートに穴のない角を右手前にします。

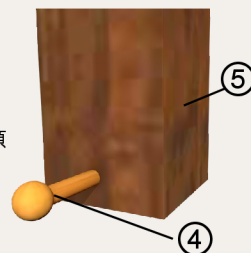
## III. 台座設置



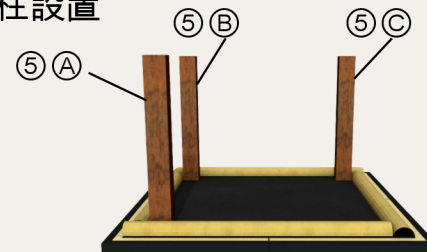
黒シートの対面穴3か所に"③台座"を差し込みます。台座はシート下から差し込みます。その時、「楽」の切り抜き文字がシートの中心を向くように設置します。

## IV. ダボ設置

柱側面下部にある横穴小に"④球頭ダボ"を奥まで差し込みます。

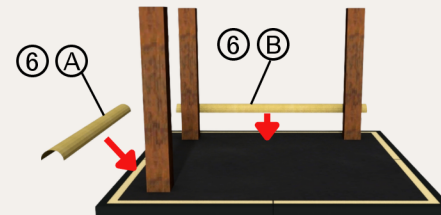


## V. 柱設置

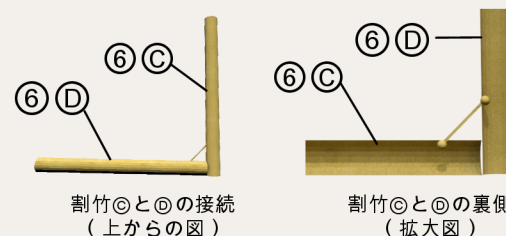


台座に"⑤柱④、柱⑥、柱⑦"を上から差し込みます。その際、向かって左側の柱は、銘板が正面になるように設置します。柱に設置した球頭ダボは必ず外側になります。

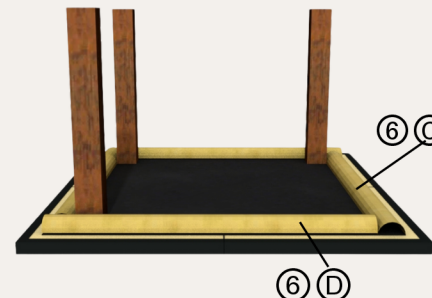
## VI. 割竹設置



"⑥割竹④、割竹⑥"の側面凹部が柱④、柱⑥、柱⑦の球頭ダボに上から被せます。

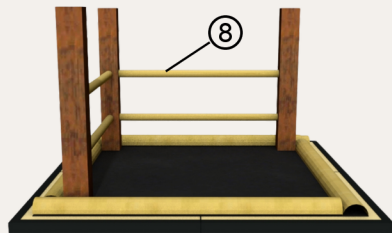


"⑥割竹④、割竹⑥"を"⑦両球頭ダボ"を使用して予め接続しておきます。



接続した割竹④、割竹⑥を柱④、柱⑥の球頭ダボに上から被せます。

## VII. 胴縁設置

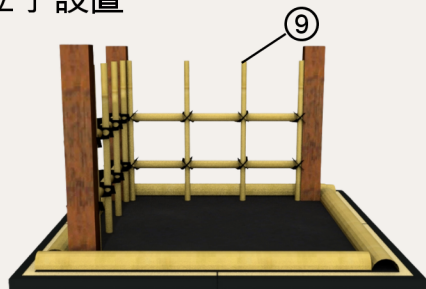


柱横の穴に"⑧胴縁"を挿し込んで、柱と柱の間に胴縁を取り付けます。胴縁は端部に切込みがある方を柱⑩に差し込みます。その際、切込み側を内側に向けます。

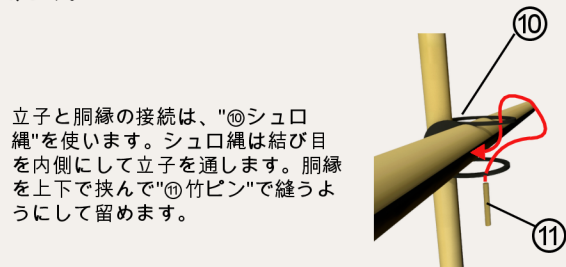
胴縁挿し込み向き（上からの図）



## VIII. 立子設置

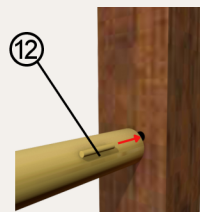


"⑨立子"を胴縁の窪みに合わせて設置します。その際、立子の節留めを上にし、背割（予め入れた割れ）は外側に向けます。

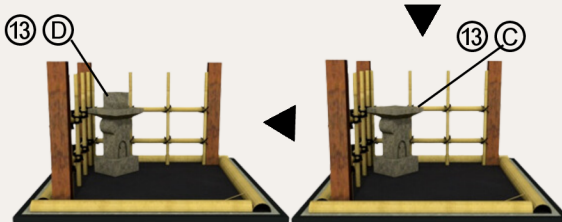
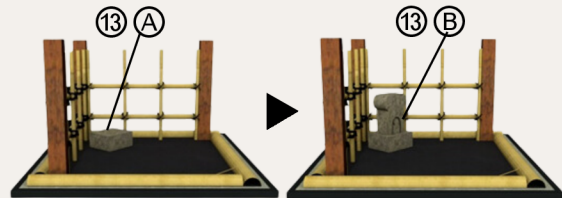


立子と胴縁の接続は、"⑩シュロ縄"を使います。シュロ縄は結び目を内側にして立子を通します。胴縁を上下で挟んで"⑪竹ピン"で縫うようにして留めます。

柱と胴縁の接続部分の穴に、"⑫竹クサビ"を差し込んで固定します。

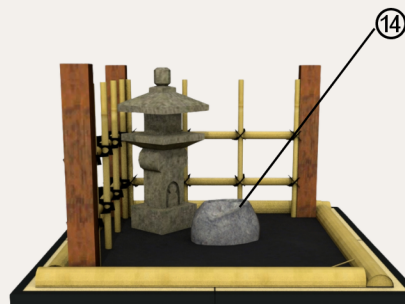


## IX. 灯ろう設置



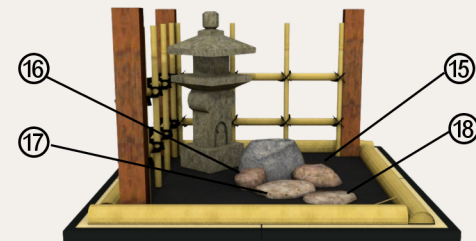
"⑬灯ろう"は、黒シートの四角枠に合わせて、下から順番に安定するように設置します。設置の順番は、下から台座、竿、中台、火袋、笠、宝珠の順に設置します。

## X. 手水鉢設置



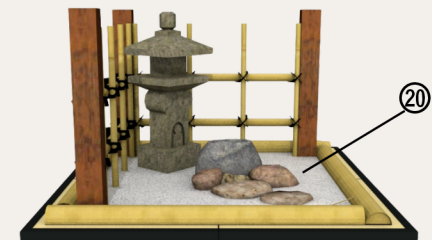
"⑭手水鉢"を黒シートの最も大きい枠印に▲マークを合わせて配置します。

## XI. 役石設置



役石（"⑮湯桶石"、"⑯手燭石"、"⑰前石"、"⑱飛石"）をそれぞれ黒シートの枠印に▲マークを合わせて配置します。役石に囲まれた中央部に⑳玉石を配置します。

## XII. 白砂利敷き



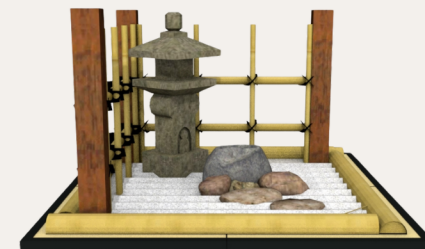
配置した灯ろう及び石の隙間に"㉑白砂利"を"㉒砂利鋤く"を使って均一に敷きます。

## XIII. 砂紋を描く

白砂利を"㉒砂紋描き"の直線部分や"㉓刷毛"をつかって平らに均し、最後に砂紋描きのギザギザ部分を使って波を描きます。



## XIV. 完成



石の上ののった白砂利を落とし、石や竹の周りの白砂利を筆で整えれば完成です。